



昭和45年
開校

みどりの子 明るく やさしく 根気よく

緑が丘だより

第10号

令和3年2月発行
宇都宮市立緑が丘小学校
校長 樽井 圭子

学校づくりへの取組

◇ 明るく：あいさつ運動強化週間（～1月15日）

第3回の運動は、年を越えて実施したため、冬休み明けも明るく気持ちのよいあいさつを続けることができました。

校舎内外では、代表委員がたすきをかけ、登校する友達に進んであいさつし、明るく1日がスタートするよう盛り上げました。



◇ 根気よく：給食週間の取組

1月18日～22日までを、本校では、学校給食週間と位置付け、栃木県をはじめ地域の郷土料理食べ歩きの旅と題し、特別メニューの献立となりました。食事は、心身ともに健康な生活を送るために大切なことです。自分の食生活を見つめ、食事への関心を高めていけるように給食の時間を活用しています。また、おはしの持ち方など食事の作法やマナーも身に付けていけるよう話しています。



給食委員による校内放送



北海道の郷土料理

◇ 根気よく：クラブ活動

1月28日(木)は、3年生のクラブ見学を行いました。クラブの時間は、異学年の子供たちと、役割を分担し、創意工夫を生かしながら興味・関心を追究しています。今年度は特に全校生の前で、発表する機会はありませんでしたが、3年生のために一生懸命活動することができました。



令和2年度の学校評価について 全体アンケートの結果から

☆ 児童・教員・保護者みんなの肯定的な評価が高かったもの（90%台）

- ・児童は、授業中、話をしっかりと聞いたり、発表したりするなど、進んで学習に取り組んでいる。
- ・児童は、誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接してくれている。
- ・児童は、健康や安全に気を付けて生活している。
- ・外国語活動の授業や ALT との交流の際に、英語を使ってコミュニケーションしている。
- ・学校全体に活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。

☆ 児童・教員・保護者みんなの肯定的な評価が低かったもの

- ・児童は、宇都宮の良さを知っている。
- ・「小中一貫・地域学校園」の取組を行っている。
- ・家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。



意見をもとにした次年度へ向けての学校の取り組み（予定）

斜字は来年度の最重点課題

☆ 学力の向上をめざし、じっくりと授業に取り組めるようにする。

- ⇒ ・話し合いや学び合いの時間を工夫する。（聞く・話す・書く**力の育成**）
- ・自分の考えを分かりやすく伝えるための発表の仕方の工夫（**伝える力の育成**）
- ・家庭学習の推進

☆ **きまりやルールを守ること・言葉づかい**や挨拶について指導の徹底を図る。

- ⇒ ・**「緑が丘小生活のきまり」の徹底**
- 日常生活においての言葉づかい 相手を「〇〇さん」と呼ぶ。
- ・挨拶は、地域でも進んでできるようにしていく。
- ・あいさつ表彰などを通して意識の高揚に努める。

☆ 健康や安全に配慮した

- ⇒ ・新型コロナウイルス感染症拡大防止に努める。（新しい生活様式の実現）
- ・交通安全ボランティアの方々と連携を図った安全指導
- ・養護教諭、学校栄養職員と連携した健康教育の推進

※ 家庭や地域の皆様に **「学校だより」「学年だより」等を活用し**、積極的に情報を発信しながら取り組んでいきます。

※ 緑が丘小学校ホームページで便りや日々の様子を発信していきますので、御覧ください。